

## 地域検討会議の設置・進め方について

### 1. 地域検討会議の設置

学校再編に関し保護者、地域住民、教育関係者等から幅広い意見を聴取するために設置する。（資料2 旭市学校再編地域検討会議設置要綱 第2条）

旭市学校再編基本方針に関して、保護者アンケートの結果を踏まえ

1. 地域として、学校再編の方向性について意見をまとめる。

2. 「統合」となった場合、統合に向けての要望をまとめる。

ことを目的としております。

### 2. 会議の進め方

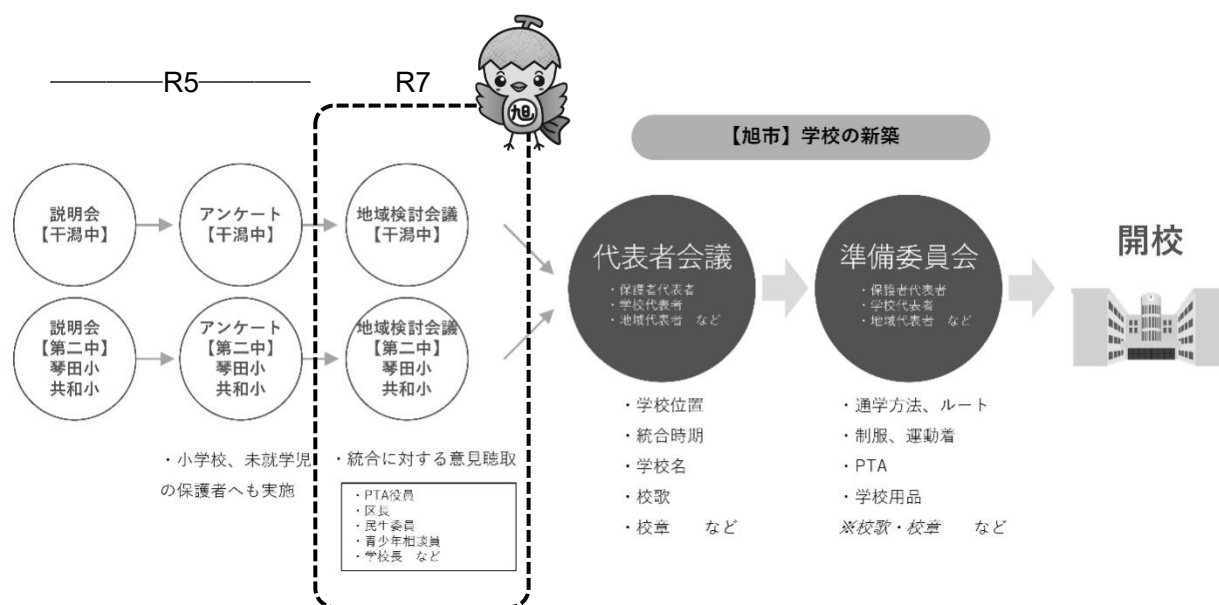
- ・委員会に会長及び副会長を置き、会議を進行する。（要綱第5条）
- ・会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。（要綱第6条）
- ・本会議でまとめられた意見は事務局が報告書として作成し、次の代表者会議にて地域の意見として持ち寄ります。代表者会議で統合について最終的な意思決定を行い、具体的なことを決めていきます。

### 3. 委員の任期

意見がまとまる日まで

### 4. その他

- ・地域検討会議は原則公開となります。（資料3 旭市審議会等の会議の公開に関する要綱）
- ・会議の内容は「学校再編だより」にて公表します。



図：学校再編の進め方

## (報告書記載案)

### (仮称) 北統合中学校 (●●小…) 地域検討会議 検討結果

(仮称) 北統合中学校への統合について(仮称) 北統合中学校 (●●小…) 地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

旭市学校再編基本方針の「●●中学校の統合」について、「賛成 (or 反対)」とする。

#### 【理由】※賛成の場合

●●中学校は、〇〇年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、地域のシンボルでもあり、閉校することが非常に惜しまれる。

一方で、生徒数の減少により単学級となる可能性もあることから、子供たちのことを最優先に考え、統合はやむを得ないという意見が多数となったため、本会議として「賛成」とする結論となった。

#### 【統合に向けての要望】

- ①統合校の位置について、…
- ②事前交流について、…

#### 【会議の概要】

|       |  |
|-------|--|
| 第 1 回 |  |
| 第 2 回 |  |
| 第 3 回 |  |

令和 7 年〇月〇日  
旭市教育委員会

## ○旭市学校再編地域検討会議設置要綱

令和 5 年 3 月 2 9 日

教育委員会告示第 4 号

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、旭市学校再編基本方針に基づき市内小中学校の再編（以下「学校再編」という。）を進めるに当たり、学校再編の対象校（以下「再編対象校」という。）ごとに設置する旭市学校再編地域検討会議（以下「検討会議」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 教育委員会は、学校再編に関し保護者、地域住民、教育関係者等からの幅広い意見を聴取するため、その指定する再編対象校に期間を定めて検討会議を設置する。

(所掌事項)

第 3 条 各検討会議の参加者（以下「委員」という。）は、学校再編に関する事項について、教育委員会の求めに応じ、意見を述べるものとする。

(委員)

第 4 条 委員は、25 人以内とする。ただし、再編対象校の通学区域（旭市立小学校及び中学校通学区域に関する規則（平成 17 年旭市教育委員会規則第 6 号）第 2 条に規定する通学区域をいう。次項において同じ。）の状況を考慮し、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

2 教育委員会は、次の各号に掲げる者に検討会議への参加を依頼するものとする。

- (1) 再編対象校の児童又は生徒の保護者の代表
- (2) 再編対象校の通学区域内の地域住民の代表
- (3) 再編対象校の学校教育関係者
- (4) 再編対象校の通学区域内の福祉関係者
- (5) 再編対象校の通学区域内の青少年育成関係者
- (6) その他教育委員会が必要と認める者

(会長及び副会長)

第5条 検討会議に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、検討会議の会議（以下「会議」という。）を進行する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

2 会議は、旭市情報公開条例（平成17年旭市条例第14号）第12条各号に掲げる不開示情報に該当すると認められる事項を取り扱う場合を除き、公開する。

(庶務)

第7条 検討会議の庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討会議に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

## ○旭市審議会等の会議の公開に関する要綱

平成 17 年 7 月 1 日

告示第 4 号

## (目的)

第 1 条 この要綱は、審議会等の会議の公開に関し必要な事項を定め、審議会等の会議のより公正な運営及び透明性の向上を図ることにより、もって開かれた市政の実現に資することを目的とする。

## (審議会等)

第 2 条 この要綱において「審議会等」とは、実施機関（旭市情報公開条例（平成 17 年旭市条例第 14 号。以下「条例」という。）第 2 条第 1 号に掲げる機関をいう。）に設置された審議会、協議会等をいう。

## (会議の公開の原則)

第 3 条 審議会等の会議は、これを公開するものとする。ただし、次の各号に掲げる場合は、この限りでない。

- (1) 法令等に特別の定めがある場合
- (2) 会議において、条例第 12 条各号に掲げる不開示情報に該当すると認められる事項を取り扱う場合
- (3) 会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が阻害されると認められるときで、審議会等が会議を公開しないことを決定した場合

## (会議開催の事前公表)

第 4 条 審議会等は、公開する会議を開催する場合は、会議開催予定日の 1 週間前までに次の各号に掲げる事項について公表するものとする。ただし、緊急に会議を開催する必要が生じた場合は、この限りでない。

- (1) 会議の名称
- (2) 会議の開催日時
- (3) 会議の開催場所
- (4) 議題
- (5) 傍聴人の定員
- (6) 前各号に掲げるもののほか、審議会等が必要と認める事項

(会議の公開の方法)

第5条 審議会等の会議の公開の方法は、会場内に傍聴席を設け、会議の傍聴を希望する者に当該会議の傍聴を認めることにより行うものとする。

2 傍聴を希望する者が定員を超える場合は、先着順により傍聴人を決定するものとする。ただし、審議会等が必要と認めるときは、抽選等其他の方法により傍聴人を決定することができる。

3 審議会等は、会議を公開する際、旭市傍聴要領（別記様式）を傍聴人に配付すること等により、会議が公正かつ円滑に行われるよう会場内の秩序維持に努めるものとする。

(会議資料の提供)

第6条 審議会等は、会議を公開する場合、当該会議に付する会議次第及び会議資料を傍聴人に配付するよう努めなければならない。

(会議結果等の公開)

第7条 公開した審議会等の会議結果は、条例に基づき原則公開とし、会議終了後、速やかにこれを一般の閲覧に供するものとする。

附 則

この要綱は、平成17年7月1日から施行する。

## 旭市学校再編基本方針の策定経緯

将来を展望した旭市立小・中学校について、旭市の子どもたちにとってより望ましい教育環境を提供できるよう、平成28年より「学校のあり方検討委員会」、令和元年より「旭市学校再編計画策定委員会」設置し、学校の再編について検討してきました。そして、令和3年3月に「旭市学校再編基本方針」を策定し、地域の合意形成を図りつつ学校の再編を進めていきます。

### (1) 学校再編基本方針策定までの流れ

| 年度  | 内容                                                                          |     |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------|-----|
| H28 | 旭市学校のあり方検討委員会設置<br>第1～3回旭市学校のあり方検討委員会会議                                     | (2) |
| H29 | 第4～6回旭市学校のあり方検討委員会会議<br>旭市学校のあり方検討委員会提言書提出                                  |     |
| H30 | 旭市人口推計分析業務委託<br>※学校再編計画策定委員会の設置に向けた準備・協議等                                   |     |
| R元  | 旭市学校再編計画策定委員会設置<br>第1～8回旭市学校再編計画策定委員会会議                                     | (3) |
| R2  | 第9～13回旭市学校再編計画策定委員会会議<br>パブリックコメントを実施(素案)(R3.1.15～1.29)<br>学校再編計画の報告書を市長に提出 |     |
| R3  | 旭市学校再編基本方針を発行(6月)<br>旭市校長会に説明(12月)<br>旭市PTA連絡協議会に資料配布(1月)                   |     |

## (2) 旭市学校のあり方検討委員会（H28.7～H30.3）

### ①委員構成

|               |     |
|---------------|-----|
| 学識経験者         | 3名  |
| 地域住民代表（各中学校区） | 5名  |
| 校長代表          | 4名  |
| 保護者代表（各中学校区）  | 5名  |
| 教育委員会が必要と認める者 | 1名  |
| 合計            | 18名 |

### ②会議開催

|     | 開催日及び場所             | 主な議題                                    |
|-----|---------------------|-----------------------------------------|
| 第1回 | H28.7.20<br>旭市海上支所  | 会議の運営方法について<br>検討委員会設置の経緯について           |
| 第2回 | H28.11.21<br>旭市海上支所 | 児童生徒数・学級数について<br>学校の現状について              |
| 第3回 | H29.2.16<br>海上公民館   | 近隣自治体の学校の適正規模の基準について<br>小学校中学校の適正規模について |
| 第4回 | H29.8.8<br>海上公民館    | 小中学校の適正配置について<br>意見交換                   |
| 第5回 | H29.10.12<br>海上公民館  | 第4回会議における意見内容の確認について<br>小中学校の適正配置について   |
| 第6回 | H30.1.30<br>海上公民館   | 提言書（案）について                              |
|     | H30.3.16<br>教育長室    | 旭市学校のあり方検討委員会の提言書を教育長に提出                |

### ③提言書の概要

#### 【適正規模】小学校、中学校ともに12～18学級

- ・小学校は多様な考えの中で社会性や協調性を培いお互い切磋琢磨できる環境
- ・中学校は様々な人間関係に配慮した学級編成や教科指導を充実させる教員配置、部活動や学校行事において切磋琢磨する環境

#### 【適正配置】小学校、中学校ともに12～18学級を念頭に配置を検討していく

- ・ただし、単に学校の規模だけでなく学校をとりまく様々な現状や児童生徒数の将来予測など長期的な視点から良好な教育環境と適正規模を安定的に維持できることを念頭に置く必要がある

#### 【検討を進めるにあたって】

- ・児童生徒数の将来推計や学校施設の健全性を踏まえ、児童生徒や保護者、地域からの期待に応えられる魅力的な学校とするように努める。また統合により児童生徒への配慮、保護者や地域の方々へ丁寧な説明を行い、十分に理解を得られるように努める。



### (3) 旭市学校再編計画策定委員会（R元.7～R3.3）

#### ①委員構成

|            |     |
|------------|-----|
| 副市長        | 1名  |
| 教育委員       | 1名  |
| 学識経験者      | 2名  |
| 地域住民を代表する者 | 1名  |
| 保護者を代表する者  | 2名  |
| 公募による市民    | 1名  |
| 市職員        | 3名  |
| 合計         | 11名 |

#### ②会議開催

|      | 開催日及び場所           | 主な議題                                      |
|------|-------------------|-------------------------------------------|
| 第1回  | R元.7.29<br>旭市役所   | 市内の学校の現状について<br>行政施設の管理計画等について            |
| 第2回  | R元.10.2           | 市内小中学校4校の視察                               |
| 第3回  | R元.10.30<br>海上公民館 | 再編例の提示、説明<br>再編計画の方向性について                 |
| 第4回  | R元.11.26          | 香取市立山田小学校の視察                              |
| 第5回  | R元.12.19<br>海上公民館 | 学校の改築事業費等について<br>再編パターン等について              |
| 第6回  | R2.1.29           | 成田市、佐倉市の視察                                |
| 第7回  | R2.2.18<br>海上支所   | 第5回会議の再編パターンについて<br>学校再編パターンについての意見のとりまとめ |
| 第8回  | R2.3.27<br>旭市役所   | 市内の学校施設と地域の状況等について<br>中学校の再編計画案について       |
| 第9回  | R2.6.26<br>海上支所   | 児童生徒数と部活動の状況について<br>学校再編計画案について           |
| 第10回 | R2.7.31<br>千潟公民館  | 学校施設の活用について<br>学校の再編計画案について               |
| 第11回 | R2.10.2<br>海上支所   | 学校施設の建築費用について<br>学校の再編計画案について             |
| 第12回 | R2.11.2<br>海上公民館  | 第一中学校と第二中学校の比較<br>学校の再編計画案について            |
| 第13回 | R3.2.12<br>海上支所   | パブリックコメントの意見について<br>旭市学校再編計画（案）の修正案について   |
|      | R3.3.23<br>旭市役所   | 学校再編計画の報告書を市長に提出                          |



旭市学校再編基本方針

(仮称)

## 北統合中学校

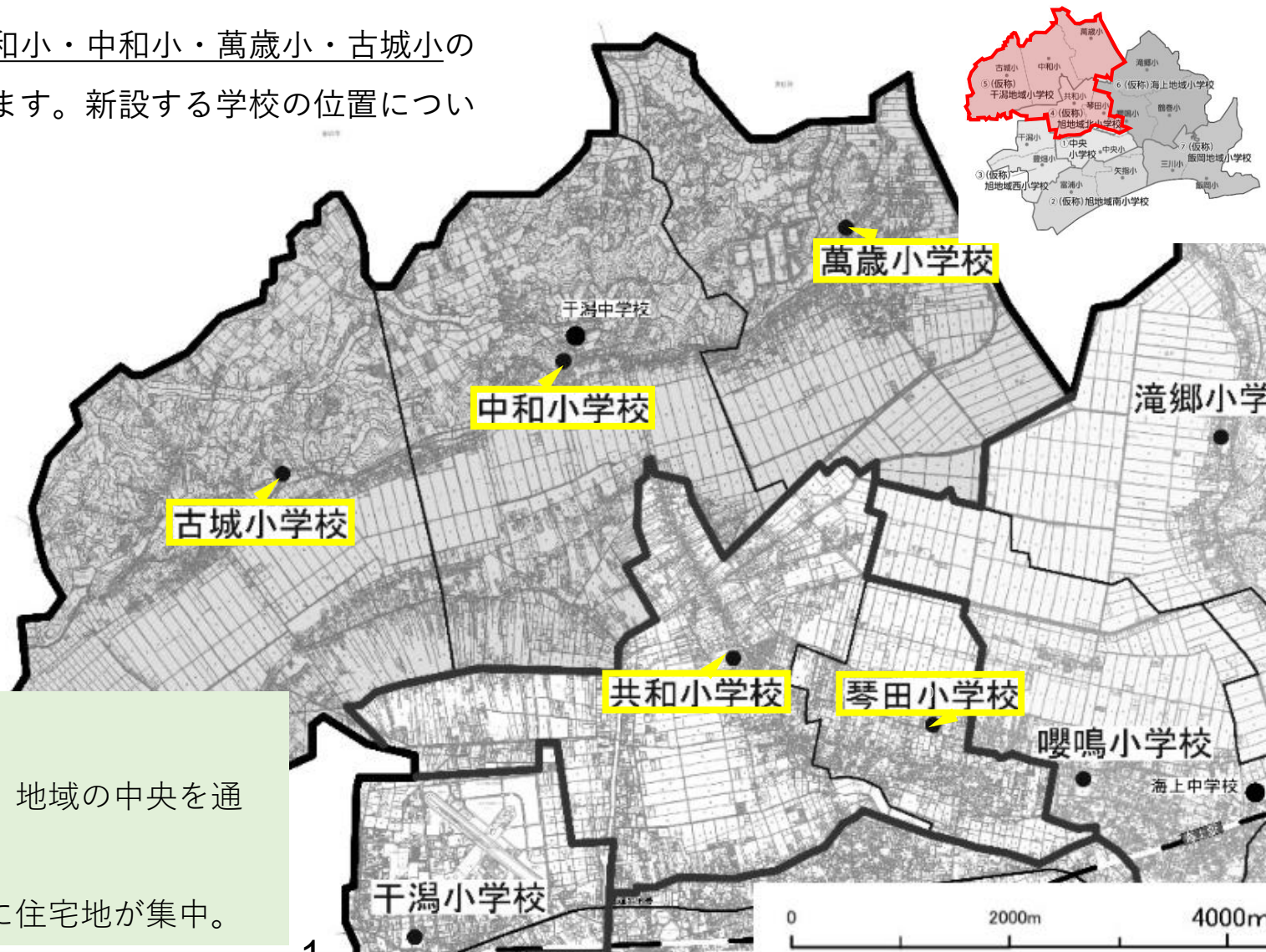
- ・ 第二中学校（琴田小・共和小学区）
- ・ 干潟中学校



# ①各学校の位置

## 学校の概要

(仮称)北統合中学校は、琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の学区とし、学校を新設することを検討します。新設する学校の位置については、地域要件等を踏まえて検討します。



### 【学校の位置関係】

- ・干潟地域は小学校が東西に広がっており、地域の中央を通る県道沿いに街が形成。
- ・琴田・共和学区は県道や幹線市道の沿線に住宅地が集中。

## ②施設の概要

### 学校の概要

干潟中学校の校舎は2040年頃に耐用年数を迎えるため建替えが必要となる。

※青塗:築後20年未満 → 黄塗:築後50年 → 赤塗:築後80年未満 → 黒塗:築後80年以上(長寿命化工事をしてても耐用年数は80年)

| 学校教育関連施設                                                                                                             |         |      |           | 2020 | 2025 | 2030 | 2035 | 2040 | 2045 | 2050 | 2055 | 2060 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 校名                                                                                                                   | 棟名      | 延床   | 建築年       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 干潟中学校<br>・耐震化【済】<br>・普通教室の最大数【10】<br>・敷地面積【24,302㎡】<br>・上記のうち借地面積【848㎡】<br>・屋内運動場面積【1,765㎡】<br>・プール【無】<br>・隣接公共施設【無】 | 管理教室棟   | 576  | 1963(S38) | 57   | 62   | 67   | 72   | 77   |      |      |      |      |
|                                                                                                                      | 管理教室棟   | 722  | 1964(S39) | 56   | 61   | 66   | 71   | 76   |      |      |      |      |
|                                                                                                                      | 管理教室棟   | 202  | 1970(S45) | 50   | 55   | 60   | 65   | 70   | 75   |      |      |      |
|                                                                                                                      | 管理特別教室棟 | 2013 | 1983(S58) | 37   | 42   | 47   | 52   | 57   | 62   | 67   | 72   | 77   |
|                                                                                                                      | 技術教室棟   | 450  | 1983(S58) | 37   | 42   | 47   | 52   | 57   | 62   | 67   | 72   | 77   |
|                                                                                                                      | 屋内運動場   | 1765 | 1992(H4)  | 28   | 33   | 38   | 43   | 48   | 53   | 58   | 63   | 68   |
|                                                                                                                      |         |      |           |      |      |      |      |      |      |      |      |      |

立地や生徒数のバランス、施設の老朽化を踏まえると干潟中学校の活用は想定していない。

### ③各中学校の生徒数の推移・推計

学校の概要

現在の中学校の生徒数推移・推計

| 学校名 | 生徒数  |      |      |      |      |
|-----|------|------|------|------|------|
|     | 実績   | 推計   |      |      |      |
|     | 2020 | 2030 | 2040 | 2050 | 2060 |
| 第一中 | 198  | 152  | 116  | 95   | 73   |
| 第二中 | 805  | 699  | 585  | 490  | 414  |
| 干潟中 | 129  | 108  | 85   | 66   | 51   |
| 海上中 | 274  | 223  | 189  | 163  | 136  |
| 飯岡中 | 227  | 161  | 128  | 107  | 87   |



統合後の中学校の生徒数推移・推計

| 学校名        | 生徒数  |      |      |      |      |
|------------|------|------|------|------|------|
|            | 実績   | 推計   |      |      |      |
|            | 2020 | 2030 | 2040 | 2050 | 2060 |
| (仮称)南統合中学校 | 793  | 662  | 541  | 446  | 366  |
| (仮称)北統合中学校 | 339  | 297  | 245  | 205  | 172  |
| (仮称)東統合中学校 | 501  | 384  | 317  | 270  | 223  |





## ②統合後の生徒数と学級数の推計

※2020年の数値は、R2. 10時点の実績値を按分したもの。

| 統合中学校       | 各中学校の学区に入る小学校 | 生徒数<br>学級数 | 2020 | 2025 | 2030  | 2035  | 2040  | 2045  | 2050  | 2055  | 2060  |
|-------------|---------------|------------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             |               |            | R 2  | R 7  | R 1 2 | R 1 7 | R 2 2 | R 2 7 | R 3 2 | R 3 7 | R 4 2 |
| ②（仮称）北統合中学校 | 琴田小           | 生徒数        | 74   | 77   | 75    | 70    | 66    | 63    | 61    | 59    | 56    |
|             | 共和小           | 生徒数        | 129  | 125  | 114   | 102   | 95    | 86    | 78    | 72    | 67    |
|             | 中和小           | 生徒数        | 43   | 35   | 31    | 26    | 23    | 21    | 19    | 17    | 14    |
|             | 萬歳小           | 生徒数        | 34   | 39   | 29    | 24    | 24    | 22    | 19    | 17    | 14    |
|             | 古城小           | 生徒数        | 54   | 55   | 49    | 42    | 38    | 35    | 28    | 25    | 22    |
|             | 合計            | 生徒数        | 334  | 331  | 298   | 264   | 246   | 227   | 205   | 190   | 173   |
|             |               | 学級数        | 10   | 10   | 9     | 8     | 8     | 7     | 6     | 6     | 6     |

※生徒数は推計値。学級数は1クラス35人として計算。

### 【適正規模】

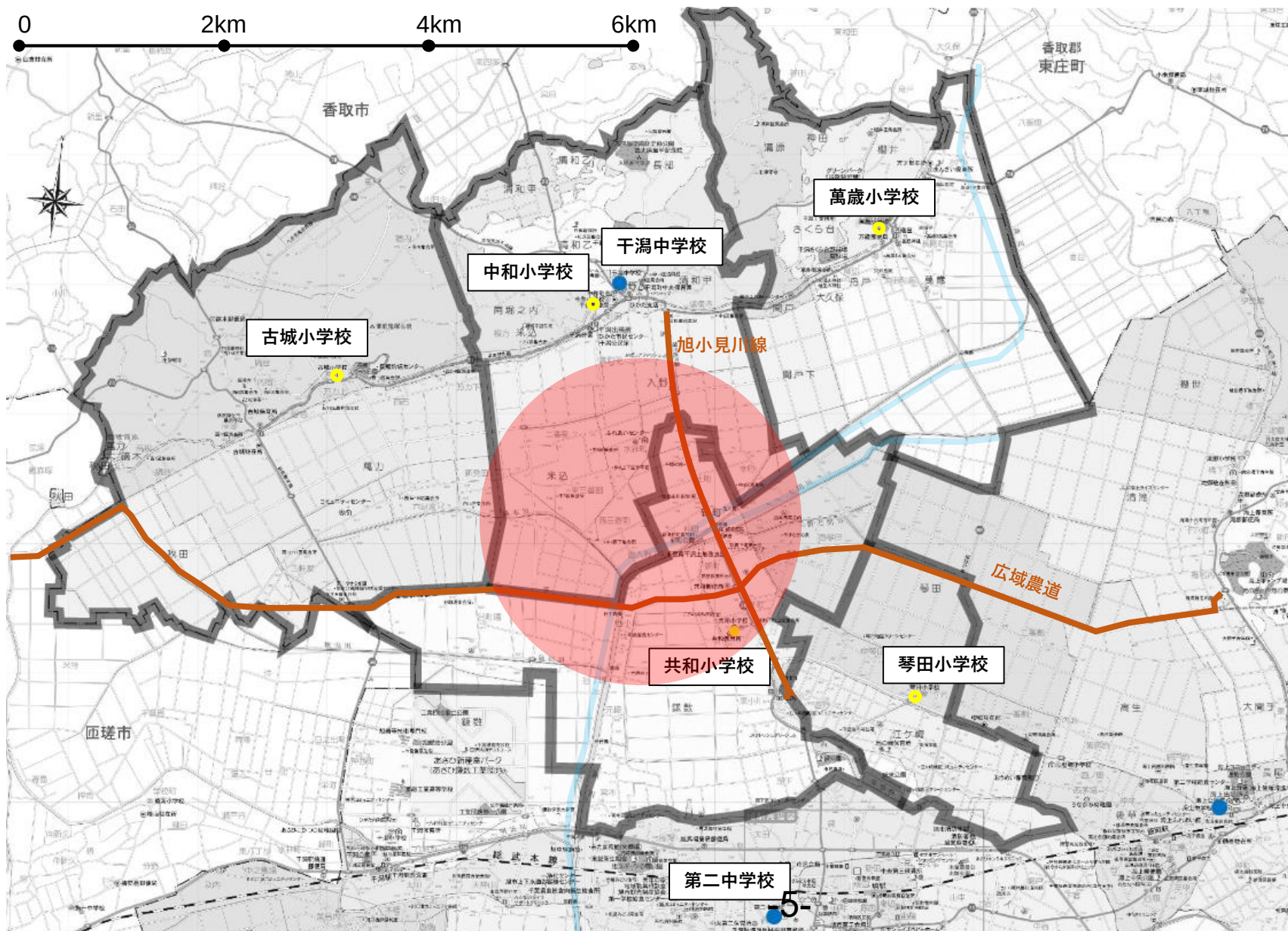
文部科学省は1つの学校あたり12～18学級（1学年4～6学級）を適正規模としています。これは、児童生徒のグループ活動などの社会性とクラス替えが可能などの運営面とのバランスを考慮したものです。

旭市が設定する1学年の学級数の下限

**1学年2学級以上**

# ③新設する学校の位置

## 学校再編の内容



| 学校名   | 敷地面積 (㎡) |
|-------|----------|
| 第一中学校 | 28,929   |
| 第二中学校 | 34,460   |
| 海上中学校 | 45,066   |
| 飯岡中学校 | 36,285   |
| 干潟中学校 | 24,302   |

### 学校の位置で重視する点

- ・ アクセス性
- ・ 地形
- ・ 周辺環境
- ・ 安全性



## ④新しい中学校の整備例（写真：飯岡中学校）

A NEW JUNIOR HIGH SCHOOL THAT WE IMAGINE.

学校再編の内容

～地域の新たな拠点として～

エコスクール

安心・安全

ICTの活用

“SDG s”

地域共生

“LGBTQ”



活動しやすいグラウンド



快適な教室・ICT対応備品



多目的空間



バリアフリー



空調設備の完備を検討（写真：体育館）



多様な学習形態への対応（写真：音楽室）

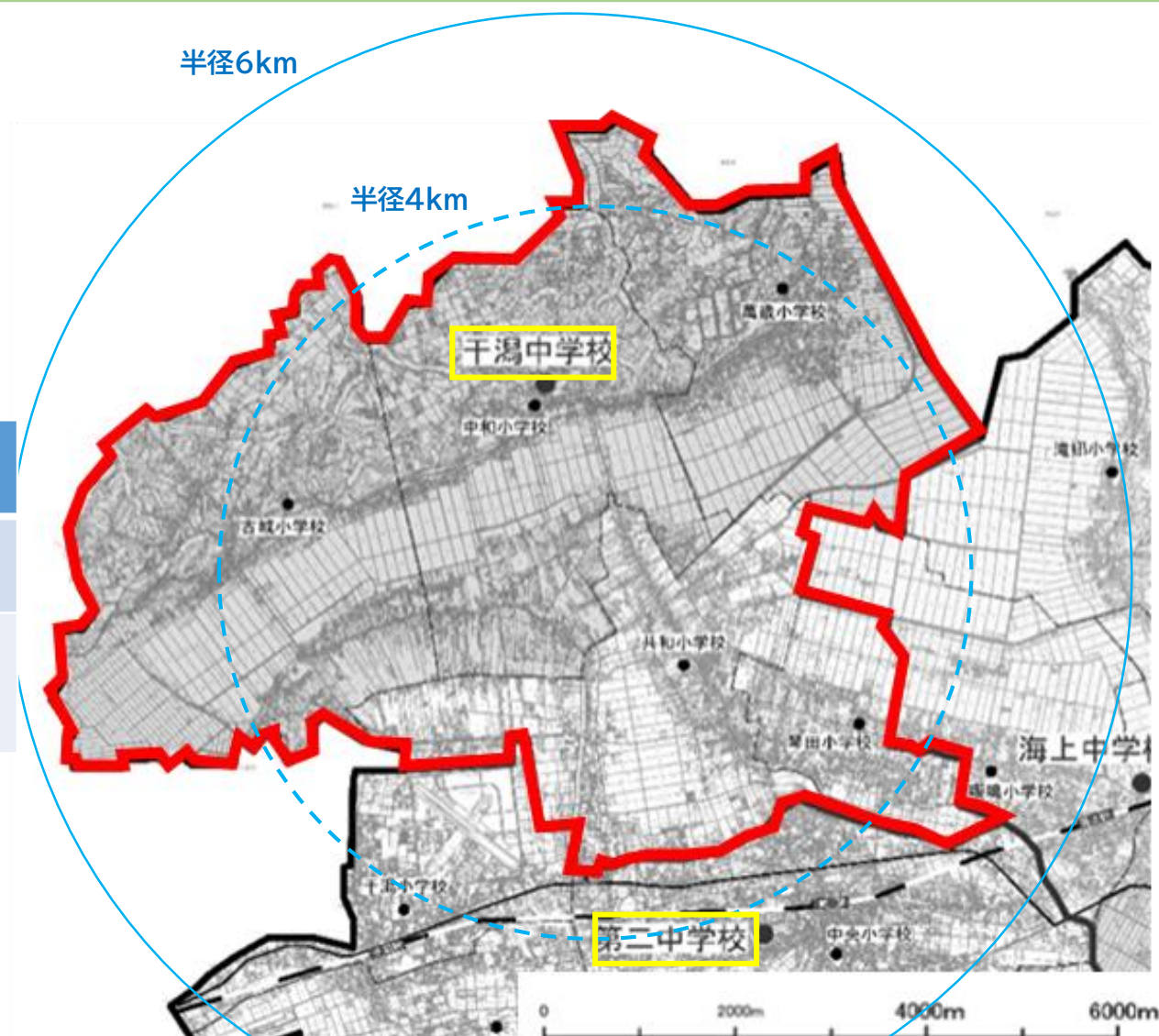




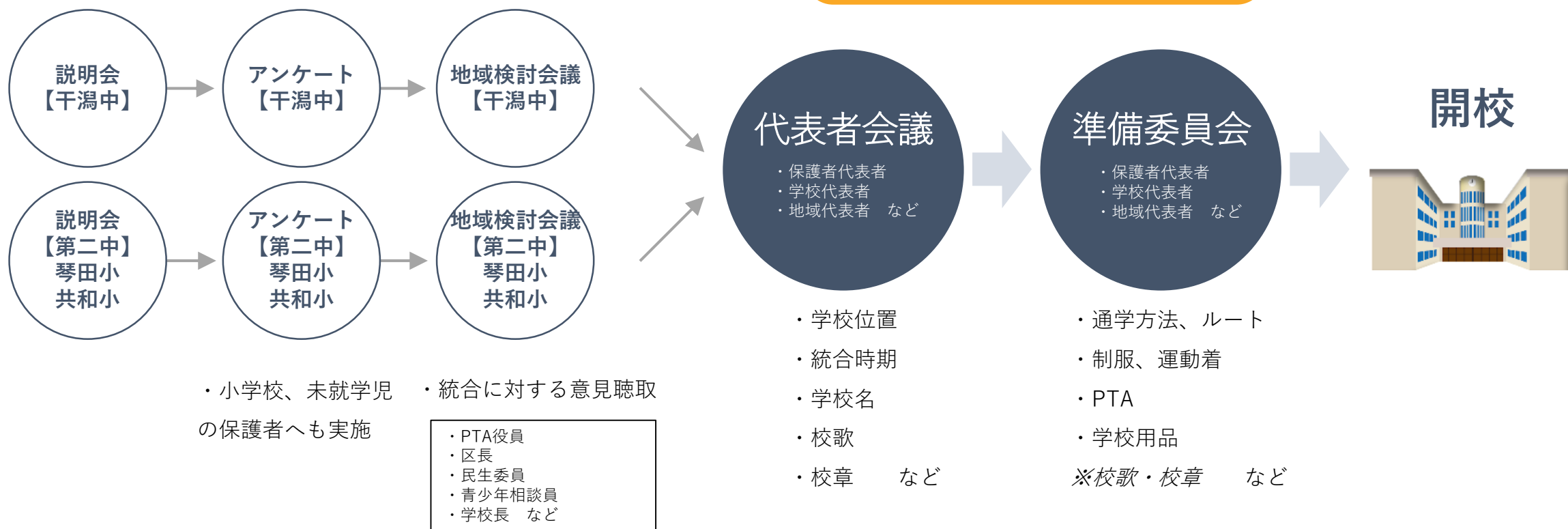
通学方法は、自転車通学を基本として、立地状況などを踏まえた検討を行います。

【適正配置にかかる通学距離】

| 区分 | 小学校                          | 中学校     |
|----|------------------------------|---------|
| 国  | 概ね 4 km                      | 概ね 6 km |
| 旭市 | 概ね 4 km<br>※通学時間を考慮し、通学手段を検討 | 概ね 6 km |



## 【旭市】学校の新築



5 年以上

## (仮称) 北統合中学校に係る保護者アンケート結果

### アンケート募集期間

令和5年12月18日(月)～令和6年1月31日(水)

### アンケート対象者

二中・干潟中・琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小及び未就学児施設の保護者

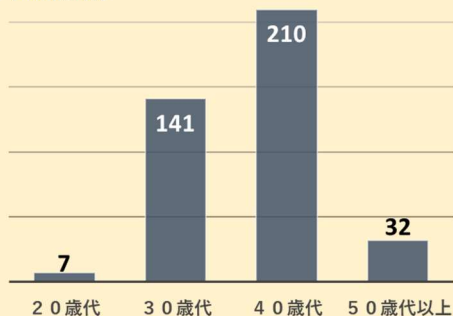
### ■アンケート回答結果

回答数462(うち重複72): 有効回答数390

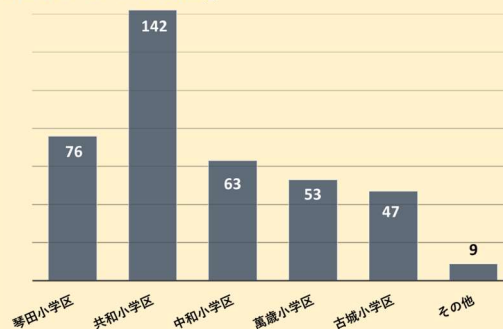
#### 【中学校区別内訳】

| 名 称                       | 回答数 |
|---------------------------|-----|
| 二中学区【二中(琴田小・共和小)・琴田小・共和小】 | 206 |
| 干潟中学区【干潟中・中和小・萬歳小・古城小】    | 157 |
| 未就学児のみ家庭                  | 27  |
|                           | 390 |

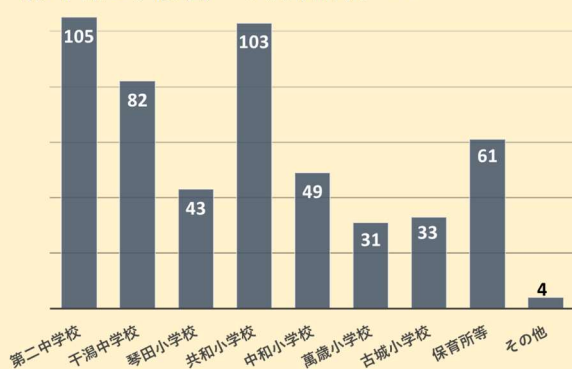
#### 【年齢構成】



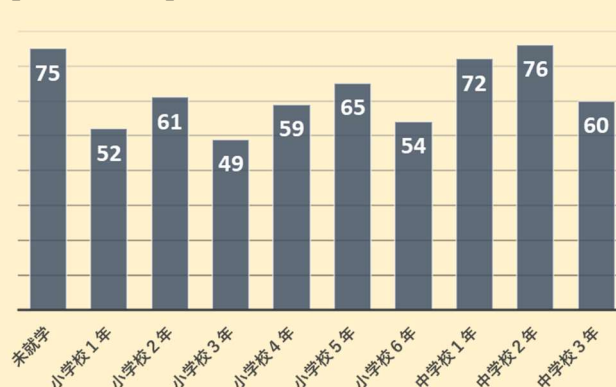
#### 【お住まいの小学校区】



#### 【お子様の学校等】 ※兄弟姉妹すべて

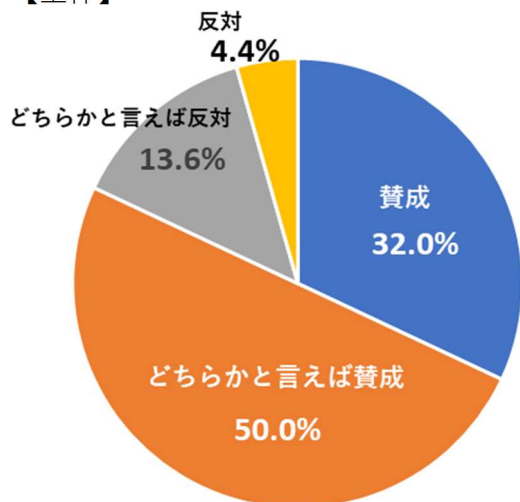


#### 【お子様の学年】 ※兄弟姉妹すべて

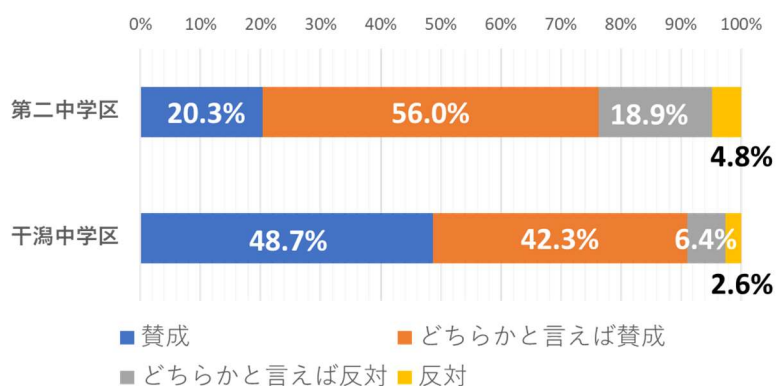


## 1. 中学校再編についてどう思いますか。

【全体】

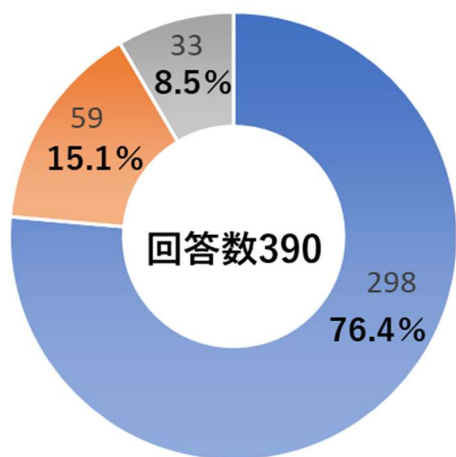


【中学校区別】



|            | 全体(未就学含む) |        |       |        |     |        |
|------------|-----------|--------|-------|--------|-----|--------|
|            | 二中学区      |        | 干潟中学区 |        |     |        |
| 賛成         | 125       | 32.0%  | 42    | 20.3%  | 76  | 48.7%  |
| どちらかと言えば賛成 | 195       | 50.0%  | 116   | 56.0%  | 66  | 42.3%  |
| どちらかと言えば反対 | 53        | 13.6%  | 39    | 18.9%  | 10  | 6.4%   |
| 反対         | 17        | 4.4%   | 10    | 4.8%   | 4   | 2.6%   |
| 合計         | 390       | 100.0% | 207   | 100.0% | 156 | 100.0% |

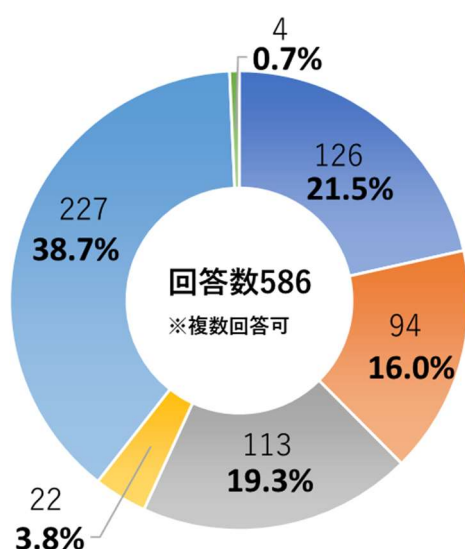
## 2. 再編をする場合、その時期はいつ頃が望ましいと思いますか。



- 5年～10年以内（2030年頃）
- 11年～20年以内（2040年頃）
- それ以降でよい

|                   |     |        |
|-------------------|-----|--------|
| 5年～10年以内（2030年頃）  | 298 | 76.4%  |
| 11年～20年以内（2040年頃） | 59  | 15.1%  |
| それ以降でよい           | 33  | 8.5%   |
| 合計                | 390 | 100.0% |

### 3. 「賛成」または「どちらかと言えば賛成」と回答した理由を教えてください。



- 公平な教育環境づくりのため
- 多くの人間関係の構築
- 部活動・学校行事の充実
- PTAや地域の活動が行いやすい
- 少子化のためやむを得ない
- その他

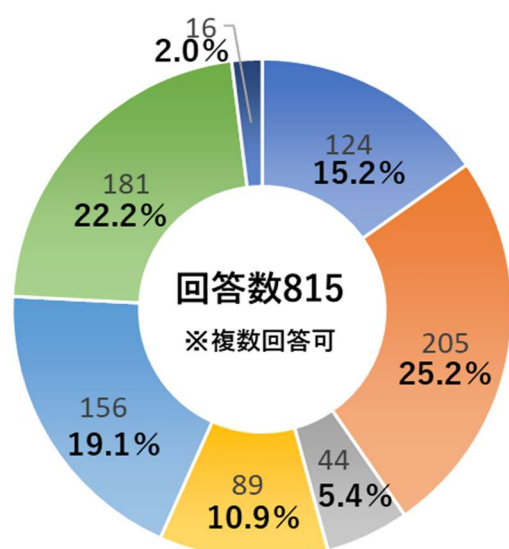
|                 |     |        |
|-----------------|-----|--------|
| 公平な教育環境づくりのため   | 126 | 21.5%  |
| 多くの人間関係の構築      | 94  | 16.0%  |
| 部活動・学校行事の充実     | 113 | 19.3%  |
| PTAや地域の活動が行いやすい | 22  | 3.8%   |
| 少子化のためやむを得ない    | 227 | 38.7%  |
| その他             | 4   | 0.7%   |
| 合計              | 586 | 100.0% |

#### 【その他の意見】

- ・ 学校よっての生徒数にあまり差がない方が良いとは思いますが、地域的に集約に差が出てしまうのは仕方のないのかなとも思います。
- ・ 新しい建物で子供達の安全を考慮できる。
- ・ 家から中学校が近くなる為。
- ・ 旭一中と二中が近接していて干潟中学校も老朽化してきているから。



#### 4. 統合後の新しい学校に期待することは何ですか。



- 特色ある教育
- 多様な学習形態への対応
- 制服の市内統一化
- 最新のICT設備（電子黒板等）
- 体育館への空調完備
- 施設の充実（防犯カメラ設置等）
- その他

|                 |     |        |
|-----------------|-----|--------|
| 特色ある教育          | 124 | 15.2%  |
| 多様な学習形態への対応     | 205 | 25.2%  |
| 制服の市内統一化        | 44  | 5.4%   |
| 最新のICT設備（電子黒板等） | 89  | 10.9%  |
| 体育館への空調完備       | 156 | 19.1%  |
| 施設の充実（防犯カメラ設置等） | 181 | 22.2%  |
| その他             | 16  | 2.0%   |
| 合計              | 815 | 100.0% |

#### 【その他の意見】

- ・ 子供たちの活動の充実。
- ・ 送迎渋滞などがない。
- ・ 送迎バスの運行。
- ・ 合併しても前の制服のお下がり可能。
- ・ 他の市立中学校平均より良い学校であれば。
- ・ 多様種の部活動。
- ・ 土砂災害の心配が無くなること。
- ・ 人数が少なくても部活動は充実してほしい。
- ・ 各学校の人数をほぼ均等にする。
- ・ 二中はテストが多いのに他校は少ない。どの学校も同じように学習を進めて欲しい。
- ・ 自校給食。
- ・ 制服、指定バッグなし。お金がかかるだけなので。
- ・ 学力向上への取り組み。
- ・ PTA の廃止。
- ・ 学力の向上。
- ・ これまでの文法英語ではなく、実践的な外語学習。

**5. 新設する学校の場所について、今後候補地を選定していくことになりますが、場所に関してのご意見等がありましたらお聞かせください。**

- ・場所は安全で車両が入れる広いところ。
- ・農道など車の交通が多い場所なので学区内の道路設備(歩道や横断歩道)などはしっかり見直していただきたいです。歩道があっても草だらけで歩けない場所もあります。
- ・どの学区からも通いやすく、安全な通学路を確保できるところを望みます。また、広いグラウンドや体育館、野球やサッカーができる場所が併設できるくらいのスペースを確保してほしいです。
- ・新設は反対。
- ・地盤沈下、液状化しないところ。近隣住民が迷惑しないように送り迎えができるところ。
- ・ナリタヤの隣。
- ・災害面で安全性が高いところ。地盤が良いところ。
- ・通学路になると予想される道を、春夏秋冬の朝夕に自転車で実際に走って、危険ではないか実証提示希望。せっかく新設するのに、子供達に危ない道を通らせたくない。今ある建物を使用するなら通学路に関して仕方がないと思える部分はあるが、新設するなら建設地決定はよく考えてください。
- ・なるだけ地盤がよいところ。車の通りがはげしい道路には密接しないところ。
- ・家から徒歩で通える範囲を望みます。
- ・なにも新しく建設せず、あまりお金をかけず、今ある学校を使ってどうにかできないのでしょうか。
- ・広域農道周辺で送迎混雑しないよう住宅地から離してほしいです。
- ・自転車通学が主となると思うので、交通量の多い通り（県道 28 号線、広域農道、市道八丁場遊正線）に面した立地では、交通安全の面から心配なので、現飯岡中のように、通りから少し引っ込んだほうがいい。共和小と琴田小の統合先を琴田小にして、共和小と共和保育所の跡地を利用してもいいのではないかな。
- ・公的な施設のため、避難場所としても活用することもあると思うので、山や川（用水路）等が近くになく、車の出入りがしやすい場所。
- ・車が循環しやすい。
- ・広域農道沿い。
- ・自転車で通っても危なくない道。今は農道も県道も車通りが多くて危険に感じます。ガードレールの付いた自転車専用道路等があると安心です。
- ・学校が統合することで行事になると駐車場・雨になると迎えの交通渋滞。近隣住民からの苦情が出ていた。統合する学校全部通学する子供達だけでなく協力する保護者・近隣への配慮もお願いしたい。
- ・自転車通学でも危険のない場所をお願いしたい。農道を横断するのは危険なのでやめて欲しい。
- ・子供達の安全が一番大事なのできちんと道路整備されているところ。
- ・スクールバスを利用することになると思うので、どの地区からも行きやすい場所であれば特に希望はありません。
- ・通学に際し、道路幅が狭く交通量が多い場所を通ることや街灯が少ない等不安が残らない場所が良い。
- ・できたら干潟地区に作って欲しい。
- ・可能な限り干潟地区に作って頂きたいと思います。
- ・通学路の安全が確認できていること。

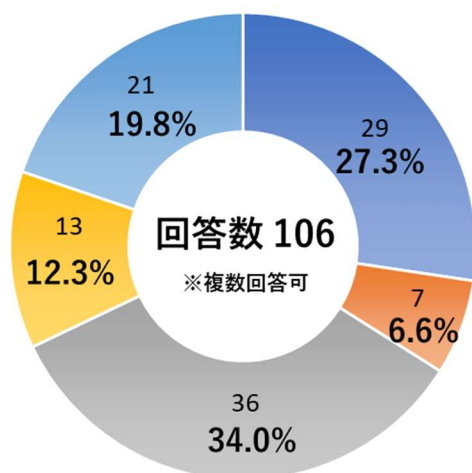
- ・小見川県道や広域農道沿いが想定されているが、用地の確保は、どのような体制で進めていくのか示してほしい。
- ・スクールバスが出来るなら特にない。
- ・新しい中学校は、統合する地域の中央に位置し、通学路の安全性が確保していただければと思います。
- ・出来るだけ多くの子が安全な通学路を通して通える場所を希望します。
- ・通学に危険でない所が良いです。やむを得ず危険なところになっても、道路の整備など一緒にしてほしいです。
- ・極端に近い学区や遠すぎる学区がなくアクセスが良くて安全性がよい場合。
- ・干潟中学校より南側に新設すれば平等な距離になると思う。
- ・どの地域からも通いやすい場所地盤がよい土地を探して欲しい。
- ・どこでも良い。早急に統合できれば。
- ・災害時に安全確保のできる場所。
- ・土砂災害に遭わない場所。
- ・どの学区からも遠すぎない。
- ・中和地区で作ってもらいたい。色々な地域から登下校となると、中間のがいいのでは？と思います。
- ・通学路が危険がないようにしてほしいです。必ず歩道があるようにしてほしいです。
- ・場所に伴う道路事情も心配です。広域農道付近になるとしたら、交通量も多く自転車道がないため、危険が予測されます。どの場所になっても、自転車通学を前提にした通学路の整備をお願いしたいです。
- ・平等にしてもらいたいので、候補地で良い。
- ・新設しなくてよい。反対です。これ以上遠くなるとは通いに困ります。
- ・スクールバス等を安全に整備して頂ければ、場所にこだわりはない。
- ・干潟地区とか過疎っていて不公平。
- ・孤立化せず、大通りに面した安全性かつ、校庭を広めに確保し移動せず、その場で部活も励めるような環境にして欲しい。
- ・干潟中の場所を建て替えるのがいい。
- ・どの学校からも同じ位の距離が理想。また、登下校も含めた安全な場所。
- ・交通が激しくないといい。自転車通学だから。
- ・中間地点。
- ・農地が多いため、考え難いが、どの地域にも公平な場所、交通量が多く無い通学路の確保ができる場所をのぞむ。
- ・今現在でどこが候補地にあがっているかや、統合の計画でどんな意見が出ているかも説明会等で公表してほしい。
- ・学校があることで周辺道路の渋滞を引き起こさない場所が良いと思います。
- ・遠すぎると朝練等自転車で行くことが難しくなるので、中間地点をお願いします。
- ・車通りが激しくなく、ある程度民家や店舗があるところ。事故や不審者に対しての心配があるため。
- ・現在、田んぼの価値はほぼない、過疎認定された干潟地区は増えようがない、ならば現在ピュアフレッシュ干潟の脇あたりの田んぼを埋めて、中学校を作り、その周りにいずれ小学校を作る場所を確保しておく。その沿線の特区にしてもらい、分譲地をつくり、働く場所も増やす事を考えてほしい。車で移動

が原則のような旭市に、残された場所を活かすにはまず環境を大事にしてほしい。子供達が元気に通い、教育を受けて行くために、また帰ってきたい旭になってほしい。

- ・ 中心になり、交通が安全な所が良い。
- ・ 広く駐車場がとれ、他方向から通学ができる、保護者の迎え等で渋滞がおきないような場所、入野のセブンイレブンの西側の辺り？
- ・ なるべく不公平が出ないように交通の便が良いところを希望します。
- ・ 谷町場周辺にして、干潟小学区の子も北中にするべきだと思う。
- ・ 税金の無駄。建設する必要がない
- ・ 干潟中跡。
- ・ 通学に便利な立地。
- ・ 各校中間位置の広域農道沿いが好ましい。
- ・ 送迎ができない場合を考えて、自転車で安全に通える場所がいい
- ・ 安全な場所。
- ・ 自宅から近い遠いは、どうしても出来てしまうと思いますが、災害時の避難場所などとしても活用すると思うので、学区内の中心部であって欲しいことに加え、他校から試合などで来ることや、学校行事などを考えて、公共交通機関の利便性や、駐車場の確保などの面でも、ご配慮頂きたいと思います。
- ・ 旧干潟町に中学校がなくなることへの不安を感じている方々がいるので、人口比率による場所の決定だけではなく、丁寧な説明をしていただきたい。
- ・ 干潟寄りにしてほしいです。
- ・ 交通量の少ない場所(安全に通学できるように)。
- ・ 安全な通学路が確保出来る立地。
- ・ だいたいどの地区からも公平な距離が望ましいと思う。
- ・ 対象の生徒が通学するのに距離の偏りが無い点と交通のアクセスが便利な場所を希望します。
- ・ どの地域からも通学しやすい公平な場所が良いと思います。
- ・ 通学しやすい場所(安全を考慮して)。
- ・ 近年、大雨による災害が増えているため、土砂や河川の増水による自然災害等にも配慮した場所への建設を望みます。
- ・ 安全なところ。出来るだけ学区の中心。
- ・ 周辺の道路がきちんと整備されている場所が望ましい。
- ・ 学校用地に隣接して公園等を検討してほしい。駐車場確保の為。
- ・ 遠方から送迎するご家族もあると思います。渋滞考慮、駐車場考慮など多大な配慮をお願いします。
- ・ 地震や土砂津波など災害対策や防犯対策などが出来る場所。交通の便を確保。学習環境を整えやすい周辺環境をお願いしたい。図書館や学習室、フリースペースなど。
- ・ 全くイメージがわからない。ここに建てます！ときまっていた方が意見が出せる。
- ・ 今の子供達より私達から見て孫が入る事になると思うので、なるべく近く 126 より広域農道寄りが希望です。
- ・ 自転車通学で危険のないように、できる限り道路整備をして欲しいです。車道が狭いと自転車が通りにくいので、候補地は大通りに面した方が安全だと思います。
- ・ 特にない。スクールバスか欲しい位。

- ・ 県道 28 号から遠くは離れない場所。二中学区の一部の生徒が主となる北中は、共和小付近か、28 号から離れない東総広域農道付近が望ましいと思われる。
- ・ 動画では合併する中心部という話だが 1 からの取得であると難しいのではないかな？既存の干潟中の敷地 + 前にある湿地を埋め立てし敷地を確保するのが 1 番ベストな気がします。
- ・ 自宅から自転車で通える距離。
- ・ 渋滞がおきない。駐車場を確保出来る敷地の広さが必要だと思います。
- ・ 犯罪対策として送迎を行なっているので交通の便が良いところが良い。
- ・ 子供達の安全な通学ルートの確保が第一。
- ・ 干潟地区に新設してもらいたい。
- ・ 干潟地域に学校を無くさないでほしい。干潟地域は特に過疎化が進んで行く地域になると思います。小学校を統合しても、私の感覚だと 15 年後には(仮称)北中学区での再統合をしていくんだらうと思います。市の職員は 40 年保てると言っていました…干潟地域には過疎財が出せることも承知しています。過疎財を上手く使い、どこの中学にも設備では負けない学校が建てば、近くに住居を構える方もいると思います。ぜひ干潟地域の活性化につながるよう考えていただきたいです。
- ・ 広域農道など交通量が多い道路が通学路になる可能性もあると思うので、安全な通学路の確保をお願いしたいと思います。
- ・ 広域農道付近が良い。
- ・ 場所に関しては、いまの候補地でよいと思います。
- ・ 通学について、徒歩か自転車になるかと思うが親として安心して歩かせられる、自転車を走らせられる道の整備を併せてお願いしたい。又、車での送迎が多いことも予想されるので送迎時の駐車スペースの確保もお願いしたい。
- ・ 1 つにまとめるより 2 つにした方がいいと思う。
- ・ 鎌数地区。
- ・ 通いやすい場所にはしてほしいが、自転車通学する場合は交通事故が起こりづらくするように道路の整備も必ずしてほしい。
- ・ 上記の赤丸周辺なら中間でいいと思います。

6. 「反対」または「どちらかと言えば反対」と回答した理由を教えてください。



- 今この学校規模で満足している
- 多人数の学校生活が不安
- 学校が遠くなり不便になる
- 地域に学校を残したい
- その他

|                |     |        |
|----------------|-----|--------|
| 今この学校規模で満足している | 29  | 27.3%  |
| 多人数の学校生活が不安    | 7   | 6.6%   |
| 学校が遠くなり不便      | 36  | 34.0%  |
| 地域に学校を残したい     | 13  | 12.3%  |
| その他            | 21  | 19.8%  |
| 合計             | 106 | 100.0% |

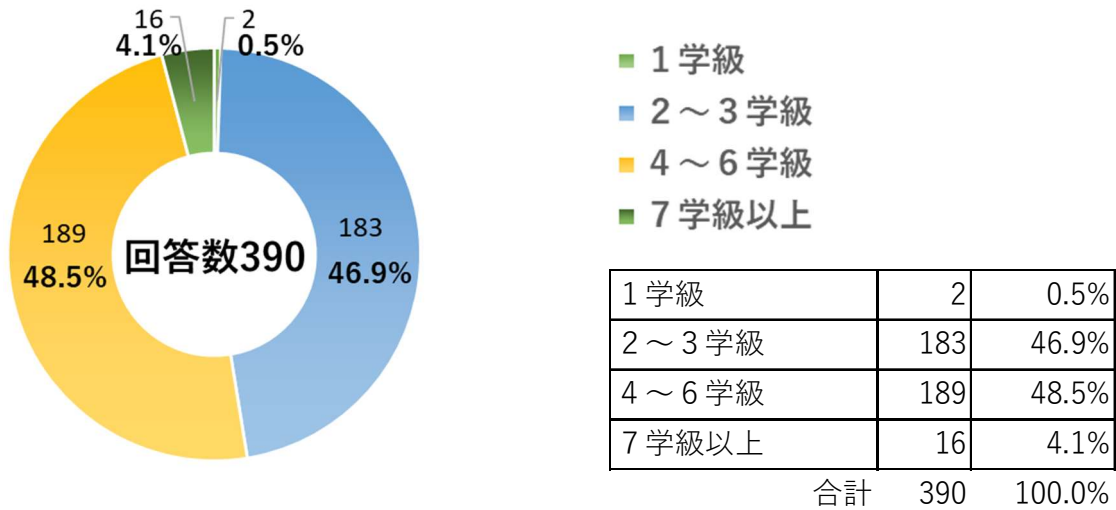
【その他の意見】

- ・北中は人数が少ないので、今の旭二中の方に行きたい。
- ・そもそも少子化、人口減が進んでいるのに箱物を造らないでほしいし、既存の耐用年数のある建物を活用してほしい。
- ・費用面の不安、新しくするなら最初から小中一貫校にしたほうがいいのではないかな。
- ・人数で見ると、この分け方でも新しい二中卒の人数が突出してるから。例えば、現在の干潟小（全員が多ければ住所で分けたり）も北中に含めた方が人数が均等に近くなると思います。
- ・新設するほどではない。
- ・共和小だと車の出入りが大変な為。
- ・事業費用の無駄。
- ・旭二中学区だから、今の場所に家を建てた。もう少し統合する時期を遅らせる。北と東をまとめた方がよいと思う。
- ・場所移設が反対。
- ・もっと広範囲での統合の方がいいと思う。
- ・設営費を余計にかける必要はない。友達と帰る楽しみを奪う。大人が楽しいだけ。
- ・送迎の関係で多少不便になるため。
- ・子供が少なくなるのに、コストをかけて校舎を作る意義が分からない。
- ・人数が少ないのだから今までの二中で十分なのでは？新たに校舎を建てるメリットが無い。
- ・通学路に街灯、店もないので安全面で心配。
- ・職場から遠くなる。
- ・今の中学より人数が減るので部活動の数が減りそう。
- ・少ない人数の学校を集めるのではなく、今後も減っていくことがわかっているのだからスクールバスなどを充実させて、二中に行かせるとかしてしまえば、いいのと思う。
- ・無駄に建物を新たに建てず、既存のものをリフォームするなどでいいと思う。

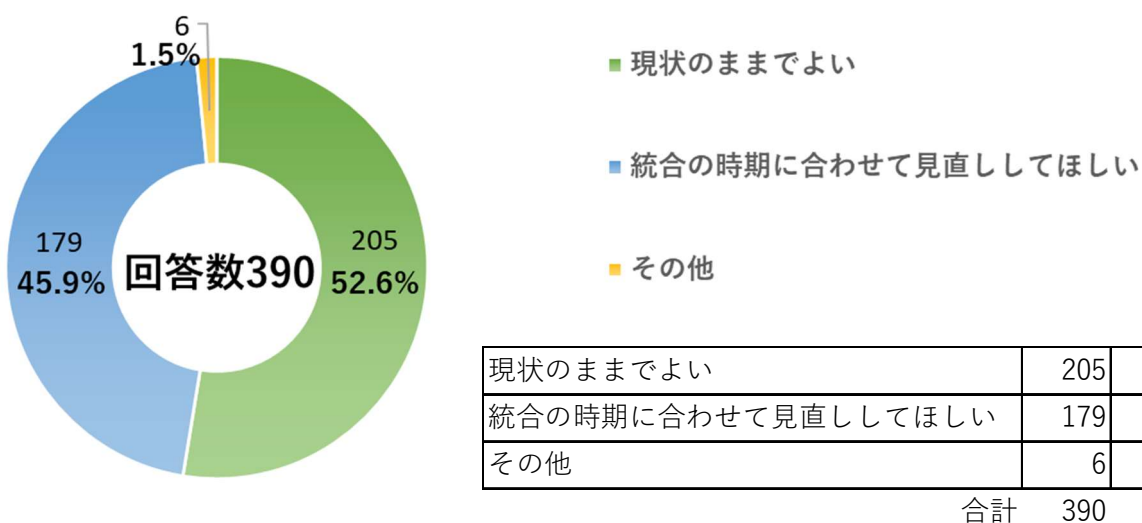


- ・ 自転車通学の子達は距離が伸びたら事故のリスクも高くなるので不安を感じる、スクールバスなどの配慮も考えてもらいたい、また子供が多くなったとて先生の人数も確保できるのですか？大人数になればなるほど子供達のもめ事も増えると思うのでそれに対応できる環境になってほしいと思う。
- ・ 保育所の友達と小学校では離れてしまい、中学校では再開できると思っていたので残念。

7. 学級数について、1 学年当たりの学級数についてどれが望ましいと思いますか。



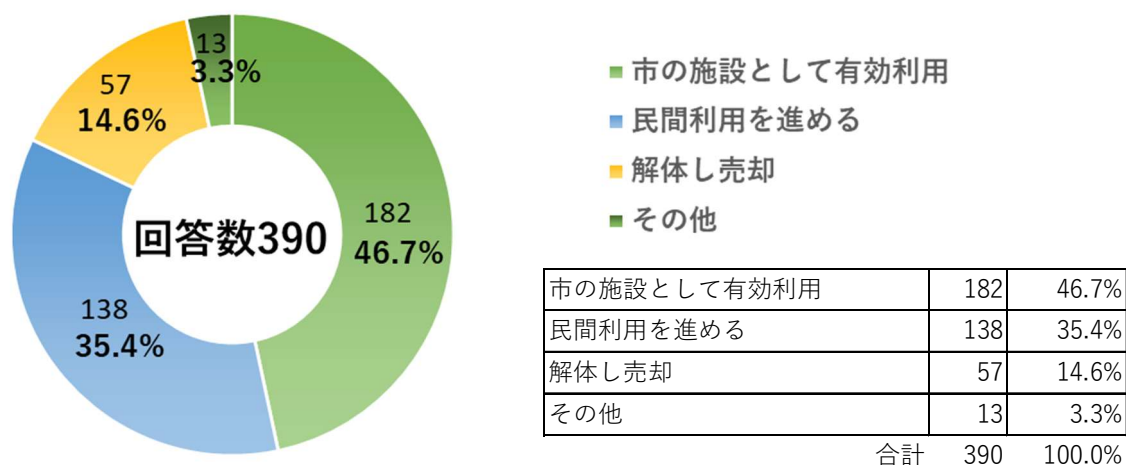
8. 学区について、学校の再編を進めるうえで、現在の学区制度についてどう思いますか。



【その他の意見】

- ・再編統合したら現状のままはあり得ないのだから上意下達でいいと思う。
- ・干潟町、山田町、東庄町で統合すれば良いだけ。
- ・それは難しい問題だと思う。
- ・よくわからない。
- ・中学校を選べるかたちが望ましい。
- ・学区制度廃止で良い。

9. 学校の跡地利用について、どれが望ましいと思いますか。



【その他の意見】

- ・特別支援学校として利用。
- ・災害があった時の避難場所などにも使えるように有効利用してほしい。
- ・お任せします。

- ・校舎は、図書館などに。中学生などが集まって勉強したりする施設。校庭や遊具は、公園がないので遊び場として残してほしい。
- ・特に無し。
- ・もし震源地が銚子ならば津波が広域農道まで来る可能性もあり。そのために避難場所として保存する事も検討した方が良い。
- ・利用できるなら利用して、利用先がなければ解体して売却。
- ・学校編成のときの需要に応じて考えてほしい。
- ・無駄にならないければ何でもいい。
- ・市の財政負担にならない活用をしてください。
- ・一番損が無い方法がいいと思います。
- ・市民に使わせる。
- ・わかりません。

## 10. その他、中学校再編に関するご意見

### 統合が「賛成」「どちらかと言えば賛成」と回答された方

- ・初心者が気軽に何でもチャレンジできる場所。心が豊かに育める場所。
- ・干潟中の人数が今後減少するのがハッキリと明確なので、統合地区をもう少し増やしたほうがいいとおもいます。琴田小、共和小、干潟地区の統合では人数が他の学校より少ないと思います。
- ・校則は時代に合わせる。（髪型、持ち物など）中学3年間で体格が大きく変化するので調節が出来る制服が望ましい。（男女共）
- ・旭二中や中央小のような、住宅街の中にある学校だと駐車場がなくて困ります。また、行事のたびに近隣の渋滞も困ります。これらのことに配慮しながら計画を進めてほしいです。
- ・再編にあたって、今まで旭二に行っていた学区は反対と思う方がいるのではないかなと思います。少しでも、周りと違う建物であったり、学習方法など特徴があればあるほど、反対の人達の考えを変えられるのではないかと思います。前もって市が考えてる学校像がわかると判断材料いいのではないかと思います。
- ・なんでもお金をかけて新しくしてと、10番の質問と同じことですが、今あるものを使ってできないものかと常に思います。
- ・将来、小中一貫校にする計画があるのであれば、それも見越した設計にするといいと思います。
- ・暮らす場所で、教育や活動の選択肢が限られてしまうのは、子供たちのためにも、今後移住を検討する人たちにも好ましくない。旭市の教育方針が、市内の学校で公平に受けられることを望みます。
- ・教室が狭く小学校・中学校ともにいっぱい。歩くスペースが狭いのでゆとりのある教室・校舎を考えてほしい。
- ・子供たちが選べるように部活の種類を増やしてほしい。
- ・干潟小学校地区も学区に入れて1学年5～6クラスの中学校にしてほしいです。
- ・同時に統合小学校の建設を希望します。小学校と中学校の校長がいる形が理想です。
- ・飯岡中規模での新設が想定されているが、施設整備費及び土地購入費の概算金額と、市の持ち出しが分かる財源内訳を示してほしい。

- ・自転車での推奨通学距離内とはいえ、通学路の整備が不十分ですし実際通学時間がかかりかかる地域に対して現在どのように考えているのか？
- ・少子化の中で致し方ないと思います。
- ・中央小学区の子の方が塾も近所にあり学力に力を入れている様子があるため、高校受験となると学校により格差が出てしまうのではと心配しています。これまでは中学が大きかったため競い合って成績を伸ばしていくことができましたが、それができなくなる気がします。
- ・少子化なのですぐ実現ではなく数年は情報収集しつつ、将来を見据えて校舎の規模などを決めていったほうが良いと思う
- ・すでに教育格差がある。早急に統合を進めて欲しい。様々な意見があるものの、ある程度市が強引にでも押し進めていくしかない。
- ・制服は、上下で2万円以内のもので、洗濯が出来るものにしてほしいです。成長期の子供なので、小さくなったら気軽に買い替えられるようにしてください。ジャージや、体操服なども同じです。
- ・スクールバスの運行があった方がよい。
- ・小学校より中学校の合併を早急にして欲しかった。大きくなるにつれ、子供達の環境による格差が広がると感じる。
- ・琴田、共和学区が北中へ統合しても、一中二中が一緒になるのでは結局そこだけに生徒が集中してるのであまり意味がないのではと思う。
- ・今の学区の中学に入学後、途中で新しい校舎に移る場合、体操服や制服を買い直すことがないよう早めに決めて新しい体操服や制服で過ごす方がいいと思うので、その辺の調整を早めをお願いします。前の学校の制服や体操服でも可とかになると、子供が可哀想な思いをする場合もあるかと思うので。早め早めの対策をお願いします。それが無理なら、全て旭市が負担してください。数年で体操服、制服を買い直す余裕はありません。
- ・学校の体操服など、成長に伴って頻繁に買い替えざるを得ない学用品の値段が高く、我慢させることが度々あります。企画を統一して色で各学校の区別をつけるなど、大量発注でコストを少しでも下げられないか。クラス内でトラブルがあり、孤立してしまった時があり、2クラスは厳しいと思った。せめて3クラスは欲しい。
- ・旭二中の人数と飯岡海上中の人数と北中の人数に差がありすぎる。もっと均等になる様に編成してもらわないと意味がないと思う。
- ・少ない地域だけの統合ではまた数年後にクラス数が減るのはみえているからもっと二中地域の学区の対象地域を広げた方がいい。
- ・まだ北統合中学の人数が少ないので干潟小学校学区も対象にした方がいい。
- ・小中一貫校にしてもらいたい。干潟地区の小学校併合とあわせて進めて頂きたい。
- ・エアコン完備必須。スクールバスも。
- ・再編に直接関係しないですが、帰りが家族の迎えだったりした時に、放課後で教室や体育館に居られない時のために、待機していただける屋根のあるスペースがあったらありがたいと思います。
- ・新しく中学校を作っても人が集まらないうと意味がないので、小学校の合併と平行し、地域の意見を聞いてから作ってほしいです。小中一貫も選択肢として最後まで残して欲しいです。
- ・塾に行かなくても、学力をサポートできる体制が必要。義務教育の期間で、格差によつての偏りがあってはいけないと思う。

- ・制服統一化に関して賛成です。男子はボタン、女子はリボンの色等で違いがわかれば良いと思う。家計負担を考えるならばジャージ等の付属用品も現行の学年カラーでなくても良いと思います。(兄弟で着回しが効くため)
- ・二中と、干潟中、一中の生徒数の差が激しすぎることに以前から疑問を感じていました。学校の再編の前にもっとできることあるのではないかと思います。再編自体には時間がかかるので、今後、人数の調整がもっとうまくできるのではないかと？
- ・安全に登下校できるように周辺の道路整備や防犯カメラの設置等もお願いしたい。
- ・部活動の充実。
- ・5つの学区が統合され、新しい環境に馴染めるか、人間関係が築けるか心配ではある。また、子供達が安全に学校生活を送れる環境を望む。
- ・早々に検討してください。
- ・中学3年生は受験時期であり、思春期真っ只中なので学校もクラスも友達も変わってしまうのは負担が大きいと思う。その配慮（クラス分けの際合併前の学校でまとめる等）が出来ると安心。
- ・今の子供達より私達から見て孫が入る事になると思うので、なるべく近く126より広域農道寄りが希望です。
- ・ICT機器の完備など、時代に即した教育環境をいち早く整えるべきだと思います。できるだけ早い再編を希望します。
- ・今後のスケジュールに古城、中和、萬歳が含まれていないのはなぜですか？
- ・スピード感をもって行なって欲しい。
- ・子供に多くの選択肢が与えられる旭市になってほしいです。多様性の実現にはまず、子供たちが多くの選択肢を知ること。3D(でも、だって、どうせ)と思いかけることがあっても、多くの選択肢があれば、これなら！の考えに繋がってくると思います。学校と保護者のパワーバランスに違和感を覚える昨今ですが、そもそも学校と保護者にパワーバランスの関係性はないです。全ての大人は未来を担う子供達のために同じ方向を向いていきたいです。
- ・小学校も北統合中の敷地内に新設してほしい。
- ・中学再編でも、共和小と琴田小が反対意見が出ていると聞いています。北中が手遅れになる前に政治の力、政治家の働きかけが必要だと感じています。干潟地域小学校の代表者会議でも事務局の方、強引な採決を取りに来てると、感じました。初めて3校集まったのに、いきなり重い採決をとろうとしているので、拒否しました。干潟地域小学校は、中学校がどこに出来るかの確約がないと、小学校も進めていけないのが現状だと感じております。
- ・12の質問について、学級数がいくつかとゆうよりはひとクラスあたりの人数が問題かと思います。学級数が多過ぎると教育が行き届かない、教室が狭いなどの問題がある。小学校でも同様の事が今起きていると思います。

### 統合が「反対」「どちらかと言えば反対」と回答された方

- ・広域農道と国道の間くらいがいい。
- ・通学が遠くなる地区にはスクールバスで対応など出来ると思うし再編統合しても新設は無い。
- ・新しくするなら、人数減少に伴い小中一貫校にできるように考えながら建設してもらいたい。
- ・統合はよいことだと考えますが、学校までの道のりが遠くなると親の負担が多くなると思うので、その辺りのサポートを望みます。スクールバスなどの整備もしてもらいたい
- ・今の案でも、人数比に差があると思うので、もう少し均等になるよう学区を見直した方がいいと思います。また、今は部活動の種類でも学校ごとに差が大きいため、選択肢を増やすためにも、ある程度統一して欲しいです。
- ・親だけでなく、子ども達の見聞も聞いて欲しい。
- ・何か、知らないところで話が進んでいる感じがする。
- ・学区を撤廃し、いちばん距離に近い中学校へ行けるようにできれば良いと思います。
- ・子供達ひとりひとりに対して、向き合っていただける規模がいい。子供の減少、教員不足など時代の変化に伴った対応は必要だと思いますが、旭二中まで3キロ以内の我が家には距離に対する不満があります。家を建てる前に知りたかったので、十分な周知をしたうえでそれをもとに家を建てる人がいると思うので、開校時期を遅らせるべきだと思います。
- ・中学校再編も小学校再編も、現行の各学校ごとの統合として進めておりますが、改めて【新学区】を定めることは不可能なのか。バス通学をせずとも通える学区配置にすれば余計なコストがかからず良いのかと。移行期間を設け新学区制定を希望します。
- ・元々香取郡だった干潟町を旭市に合併する事自体必要なかった。飯岡町、海上町に関しては2つの町の近さから将来的に統合出来る距離だったので旭市に合併は理解出来る。干潟町に関しては香取郡だったのだから山田町、東庄町と合併させるなど当初考えなかったのか。当時の旭市の議員が人口が少ない干潟町と合併すれば議席が増える上に支持者の数で勝てると思い合併したのかと考えてしまう。
- ・親の送迎無理な子供が困る。
- ・子供が少なくなるのに、コストをかけて校舎を作る意義が分からない。
- ・自転車登校の場合、登下校での安全面の心配がある為、バスの提供があると良い。
- ・統合しなくても良いように手配していただきたい。
- ・統合しても人数が少なくて、部活動の関係もあり人数の多い(仮)南統合中学校に学区変更して行く人が増えそうな気がします。その辺についてはどう考えていますか。
- ・旭第二中学校だと予定して家を建てたのに困る。小学校を学区外申請して通ったら中学校も学区外申請通して欲しい。
- ・学校を新しく作るだけでなく、天候不順の日に家族ありきの登校ではなく自分たちで自転車や徒歩以外でも、スクールバスや公共のバスなどを使って登校できる交通手段の確保をしてほしい。雨や風が強い日、送迎できる家族がいる家庭はいいが、そうでなかった場合、自転車で登校するしか手段がないが、学校が今以上に遠くなることを考えると心配だから。
- ・二中よりも遠くなるので、住所で二中にいく選択肢も残していただきたい。
- ・遠方になるなら、安全性重視でバスなど出してもらいたい。
- ・兄弟いますが、お下がりや登下校など考えても、2人とも同じところに通えるようにして欲しい。



**【問合せ先】**

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室  
TEL：0479-85-8614



干潟中学校

— 第1号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和7年6月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

## 干潟中学校と第二中学校(琴田小・共和小学区)の 学校再編に関する地域検討会議を開催します

旭市教育委員会では、干潟中学校・第二中学校(琴田小・共和小学区)の学区の保護者の皆様を対象に、令和5年に保護者説明会の開催、保護者アンケートの実施、本年6月には地域の皆様を対象に地域説明会を開催し、学校再編について意見をお聞きしてきたところです。

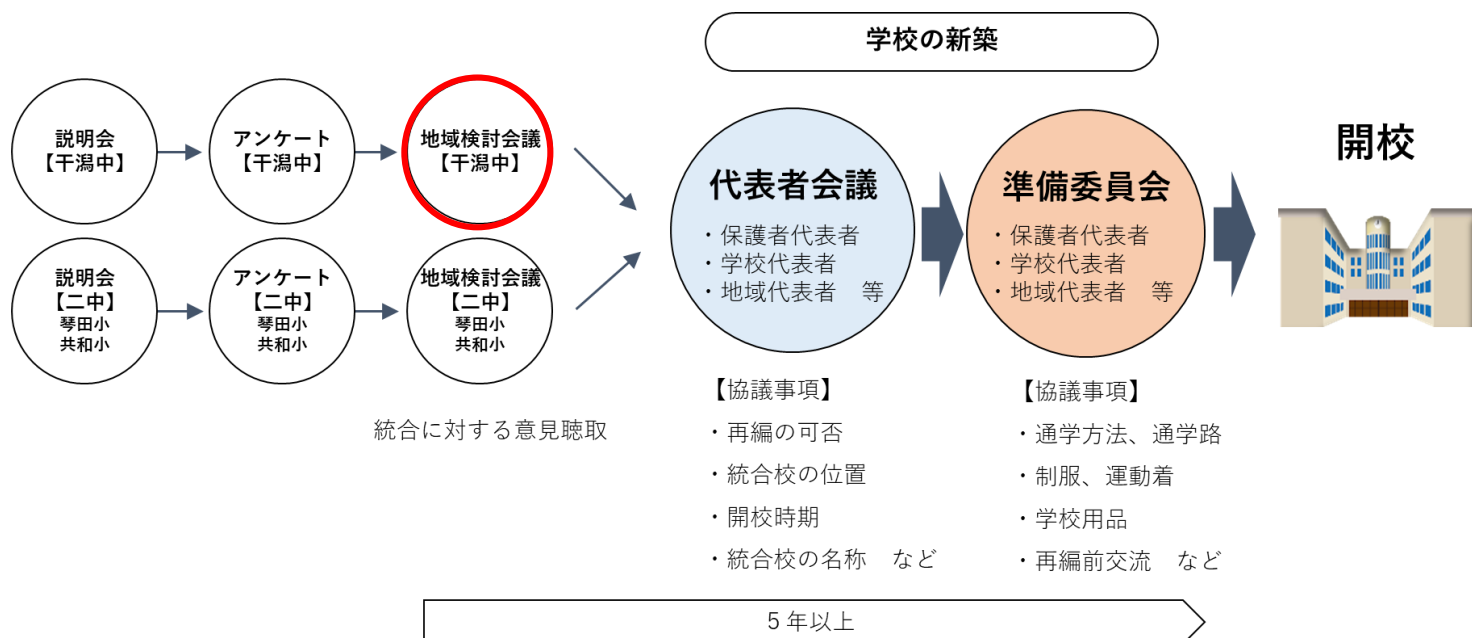
これらの結果をもとに、今年度は「保護者」、「地域住民」、「学校関係者」等で構成した『干潟中学校地域検討会議』を設置し、中学校再編について検討を始めます。

第1回会議開催予定 日時:令和7年7月7日(月) 午後6時30分から

場所:ひかた市民センター

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。  
あらかじめご了承ください。

### 学校再編の進め方



## 中学校再編に係る保護者アンケート 集計結果(一部抜粋)

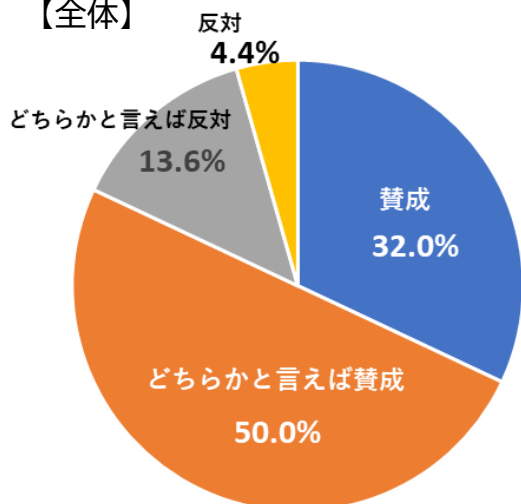
対象: 二中・干潟中・琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小および保育所等の保護者

期間: 令和5年12月18日～令和6年1月31日

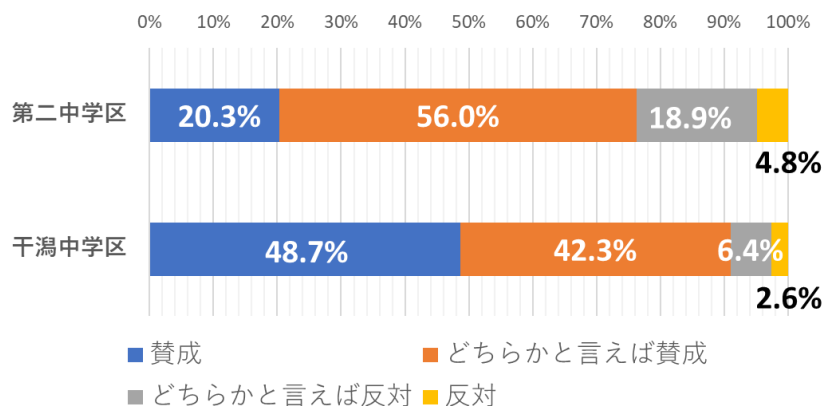
回答数: 390

### ①中学校再編についてどう思いますか。

#### 【全体】

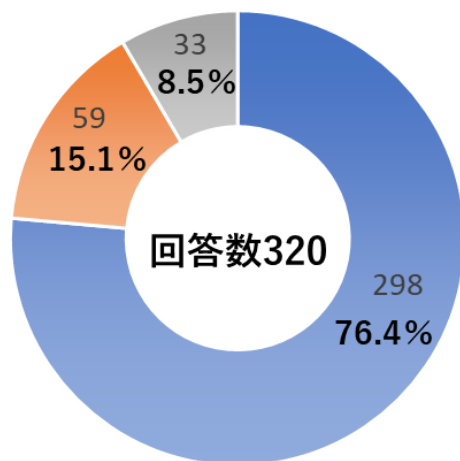


#### 【中学校区別】



|            | 全体(未就学含む) |       |       |       |    |       |
|------------|-----------|-------|-------|-------|----|-------|
|            | 二中学区      |       | 干潟中学区 |       |    |       |
| 賛成         | 125       | 32.0% | 42    | 20.3% | 76 | 48.7% |
| どちらかと言えば賛成 | 195       | 50.0% | 116   | 56.0% | 66 | 42.3% |
| どちらかと言えば反対 | 53        | 13.6% | 39    | 18.9% | 10 | 6.4%  |
| 反対         | 17        | 4.4%  | 10    | 4.8%  | 4  | 2.6%  |

### ②再編をする場合、その時期はいつ頃が望ましいと思いますか。



- 5年～10年以内 (2030年頃)
- 11年～20年以内 (2040年頃)
- それ以降でよい

|                    |     |       |
|--------------------|-----|-------|
| 5年～10年以内 (2030年頃)  | 298 | 76.4% |
| 11年～20年以内 (2040年頃) | 59  | 15.1% |
| それ以降でよい            | 33  | 8.5%  |



## 学校再編だより

## —第1号—

—保護者と地域の協働による検討会議—

令和7年6月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第二中学校(琴田小・共和小学区)と干潟中学校の  
学校再編に関する地域検討会議を開催します

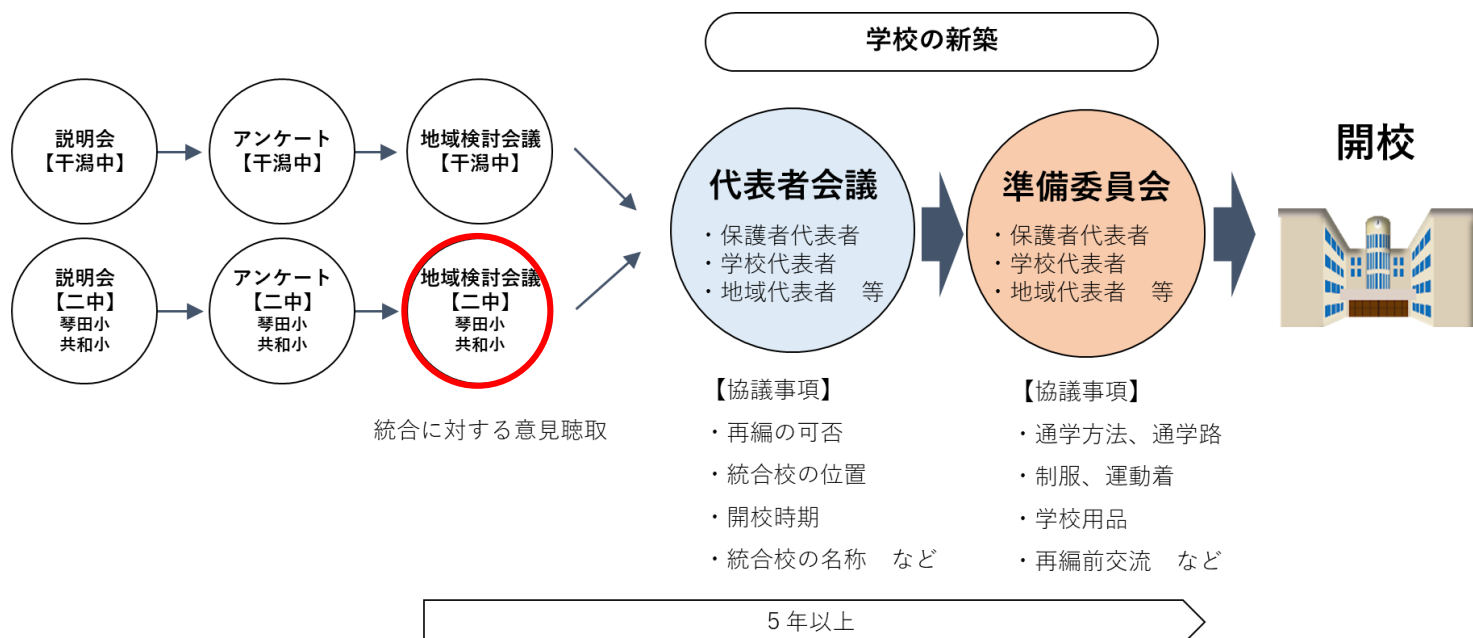
旭市教育委員会では、干潟中学校・第二中学校(琴田小・共和小学区)の学区の保護者の皆様を対象に、令和5年に保護者説明会の開催、保護者アンケートの実施、本年6月には地域の皆様を対象に地域説明会を開催し、学校再編について意見をお聞きしてきたところです。

これらの結果をもとに、今年度は「保護者」、「地域住民」、「学校関係者」等で構成した『第二中学校地域検討会議』を設置し、中学校再編について検討を始めます。

第1回会議開催予定 日時:令和7年7月10日(木) 午後6時30分から  
場所:あさひ市民センター

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。  
あらかじめご了承ください。

## 学校再編の進め方



## 中学校再編に係る保護者アンケート 集計結果(一部抜粋)

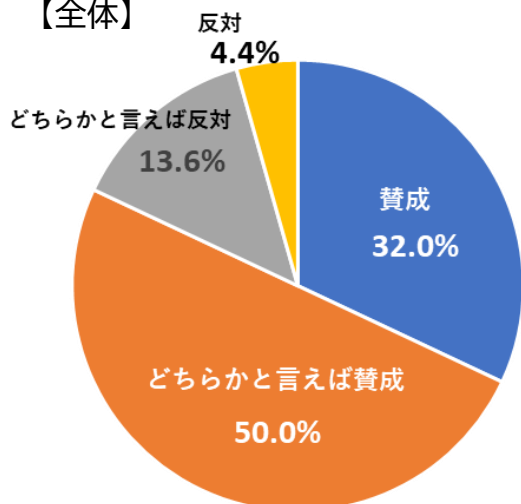
対象:二中・干潟中・琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小および保育所等の保護者

期間:令和5年12月18日～令和6年1月31日

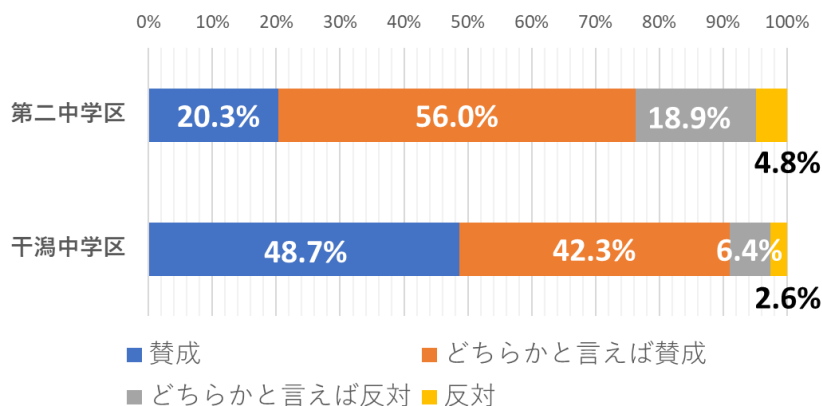
回答数:390

### ①中学校再編についてどう思いますか。

#### 【全体】

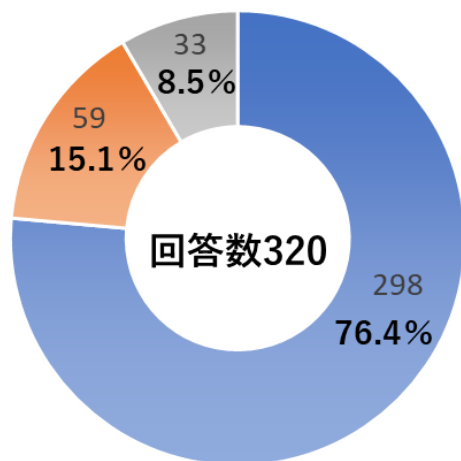


#### 【中学校区別】



|            | 全体(未就学含む) |       |       |       |    |       |
|------------|-----------|-------|-------|-------|----|-------|
|            | 二中学区      |       | 干潟中学区 |       |    |       |
| 賛成         | 125       | 32.0% | 42    | 20.3% | 76 | 48.7% |
| どちらかと言えば賛成 | 195       | 50.0% | 116   | 56.0% | 66 | 42.3% |
| どちらかと言えば反対 | 53        | 13.6% | 39    | 18.9% | 10 | 6.4%  |
| 反対         | 17        | 4.4%  | 10    | 4.8%  | 4  | 2.6%  |

### ②再編をする場合、その時期はいつ頃が望ましいと思いますか。



- 5年～10年以内 (2030年頃)
- 11年～20年以内 (2040年頃)
- それ以降でよい

|                    |     |       |
|--------------------|-----|-------|
| 5年～10年以内 (2030年頃)  | 298 | 76.4% |
| 11年～20年以内 (2040年頃) | 59  | 15.1% |
| それ以降でよい            | 33  | 8.5%  |

